

ホっとする本



どきどき わくわくの新年度🌸一息つきながら楽しみましょ♪

『懐かしくて新しい「銭湯学」 -お風呂屋さんを愉しむとおき案内-』

町田 忍／監修 メイツユニバーサルコンテンツ



突然ですが、あなたは銭湯に行ったことがありますか？
年々数が減ってきているので、行ったことが無い方も
多いかもしれません。でも実は今、銭湯は若い世代から
密かに人気となってきているのです。

この本は銭湯の歴史から始まり、一日の仕事の紹介、
インテリアなど、様々な面から銭湯を知ることができる
一冊です。読んで興味を持った方は、ぜひ実際に
銭湯に足を運んでみてください。

『私たちは何を悩んできたか -高校生が語った子どものころの悩み-』

永野 恒雄／編著 同時代社



幼いころに感じていた不安や悩み。

誰にも打ち明けられず深刻だったはずですが、中高生
にもなればいつの間にか解消されているものです。
成長とともに不安から解放されることの安心感と、
「みんな子どもなりにいろいろ考えていたのだなあ」と
いう共感も覚える一冊です。



高井戸 YA 新聞 2023年春号(44号)



『ガラスの海を渡る舟』 寺地 はるな／著 PHP 研究所



他人と協調することができない、「みんな」と違う兄。
何でもそつなくこなせるが、自分にはない特別な才能
に憧れる妹。お互いに苦手意識を持つ二人が、祖父
の残したガラス工房を再開させることとなり…。

兄妹がガラス工芸を通じて向き合い、成長していく十年
間を描いています。



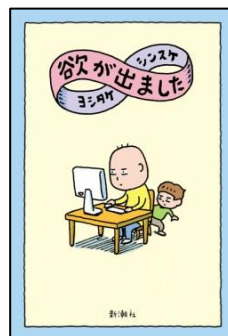
『君が夏を走らせる』 瀬尾 まいこ／著 新潮社



16歳の金髪高校生・大田は、ひよんなことから
夏休みの1ヵ月間、先輩の1歳児の娘・鈴香の
面倒をみることに。小さい鈴香に振り回されるうちに、
大田はやがて…。

「ヤンキー×幼児」の掛け合い漫才のようなやりとりが
面白く、くすつと笑えるハートウォーミングな1冊です。

『欲が出ました』 ヨシタケ シンスケ／著 新潮社



人気の絵本作家による、普段描きとめている様々な
スケッチに自らゆる〜く解説したものをまとめた
エッセイ集。ある表情の人のスケッチを、「お菓子をもう
一個取ってもいいんじゃないかとか、俺はもうちょっと
寝ていいんじゃないか、といったプチ欲が出たとき
の顔」としてさらりと語る一本目を筆頭に、そういう
のってあるある！と共感しきりでほのぼののしちゃう
内容が満載です。